

第 33 回定時株主総会における質疑の概要

(2022 年 6 月 27 日開催)

●質問 1

株主価値の向上を重要な指針として掲げているが、長期保有をしている株主に向けた株主優待制度の導入予定はないか。

回答（回答者 松崎社長）

次期中期経営計画に関する具体的な議論を交わしている段階であり、まずは業績を回復し、長期的かつ安定的に業績を伸ばしていくことで株主の皆様の期待に応えていきたいと考えているが、現時点で、長期保有をいただいている株主様向けの優待制度の導入の予定はございません。

●質問 2

招集通知に記載しているブランドや店舗数の推移などについてグラフなどを用いて、より分かり易い表現にして欲しい。また、クロムハーツブランドと株式会社 FIGO が連結会計の対象から外れたことの影響およびクロムハーツブランドの売上が数値に残っている理由は何かを聞かせて欲しい。

回答（回答者 松崎社長）

招集通知の記載や表現の方法については、引き続き改善に努めていきたい。また、クロムハーツブランドおよび株式会社 FIGO が連結から外れたことにより、前年売上高との比較において約 7%のマイナス影響が出ている。なお、クロムハーツブランドが売上構成に残っている点については、当社店舗で同ブランド商材の販売を継続していることが理由である。

●質問 3

いわゆる「バーチャルオンリー株主総会」を可能にする旨の定款変更に関する議案が付議されているが、具体的に実施を予定しているのか。

回答（回答者 松崎社長）

現時点では未決定であるが、次回の株主総会に関しては、本年の株主総会と同様に、会場での開催とライブ配信を組み合わせた開催方法が適切ではないかと考えている。引き続きよりよい運営方法について、調査、議論を進めていきたい。

●質問 4

海外子会社である台湾聯合艾諾股份有限公司について、現在の業績および今後の展望について聞きたい。

回答（回答者 松崎社長）

台湾子会社は、台湾政府の方針などもあり、国内以上に新型コロナウイルスの影響を受けていたが、現在は入店客数も戻り、業績も回復してきている。まずは黒字化を果たし、引き続き皆様のご期待に沿えるよう必要な施策を進めていく。